

# 教委だより

No.445



令和8年4月30日

編集発行 富山県教育委員会  
発行人 教育企画課長



辞令を受け取る相山教諭



辞令を受け取る村上教諭



宣誓を行う吉田教諭

## 新規採用教職員308名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が4月1日（水）に富山県教育文化会館で行われ、308名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の村上泰雅教諭（高岡市立中田中学校）と相山春奈教諭（にいかわ総合支援学校）が辞令を受け取った後、吉田葵教諭（黒部市立中央小学校）が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

廣島教育長は、「日々の生活の余裕、余白も大切にしながら学校以外の広い世界にも触れ、人生を豊かなものにしていただくとともに、教師という創造的で魅力的な職業に誇りをもって教壇に立ってほしい」と訓辞しました。

●令和8年度 採用状況は次のとおりです。

◆教員（養護教諭2名、栄養教諭1名を含む）	308名
小学校	116名
中学校	93名
義務教育学校	4名
高等学校	50名
特別支援学校	45名
◇合計	308名

# 教育長のあいさつ

## 一人ひとりのウェルビーイングを高める教育の推進

富山県教育委員会教育長 廣島伸一



近年、人口減少やデジタル化・グローバル化の急速な進展、価値観の多様化など、本県を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、教育現場においても、解決すべき課題はより複雑で深刻なものとなっています。

こうした中、教育を取り巻く環境の変化に的確に対応するため、県と県教育委員会は令和8年3月に「第3期富山県教育大綱(第4期富山県教育振興基本計画)」を策定しました。

新たな教育大綱では、基本理念として「生涯にわたる学びを通して、県民一人ひとりのウェルビーイングを高める」を掲げ、「楽しい学校」「行きたくなる学校」づくりや、県民一人ひとりが、それぞれのライフステージにおいて必要と感じる学びの機会を提供し、学校、家庭、地域とこれまで以上に手を取り合って、富山の未来を拓く「学び」の実現を目指していきます。

また、県立高校のあり方は、大きな変わり目を迎えており、令和8年1月には「新時代とやまハイスクール構想」実施方針を取りまとめました。同時期に国から示された、令和22年(2040年)に向けた「高校教育改革に関するグランドデザイン」は、本県の構想と軌を一にするものであり、更に構想を着実に推進してまいります。

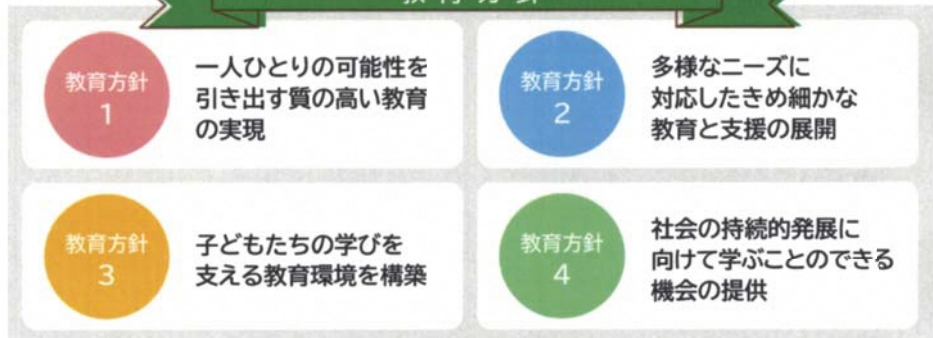
誰も経験したことがない人口減少社会において、子どもたちの学びを支える教育環境の構築を図り、引き続き「教育県富山」の良き伝統を継承・発展させながら、未来を担う子どもたちが健やかにたくましく成長できるよう、「一人ひとりのウェルビーイングを高める教育の推進」に一層努めてまいります。

### 富山県教育大綱の体系

#### 基本理念

生涯にわたる学びを通して、  
県民一人ひとりのウェルビーイングを高める

#### 教育方針



#### 主な施策の方向性



〔令和8年度富山県教育委員会主要事業〕

<https://www.pref.toyama.jp/3000/kurashi/kyouiku/kosodate/kj00001017/index.html>

# 小・中学生 My 夢ビジョン事業

経済産業省「2040年の就業構造推計（改訂版）」（R8.3）では、現在の小学1年生が働き始める頃には、職業の需要と供給のバランスが今とは大きく変わることが示されており、早期からのキャリア教育の充実や子どもの進路選択に大きな影響を与える教職員や保護者の意識改革を進めることが求められています。

そこで、県教育委員会では、「小・中学生 My 夢ビジョン事業」として、まず、教員を対象に、労働環境や就業構造の変化を踏まえたキャリア教育への理解を深める研修会を実施します。また、子どもが将来の社会や働き方の変化を知り、自分の進路や生き方を幅広く考えるための教育資料とリーフレットを作成・配布し、授業での活用や将来について親子で考える機会の創出に役立てたいと考えております。その他、多様な職種の専門家や民間企業などからの出前講座の実施に向けて準備を進めていきます。

## 県立学校における働き方改革推進プラン（令和7～10年度）

令和8年2月、教員の働き方改革に向けた方策を議論・検討する「とやま学校多忙化解消推進委員会」にて策定された「県立学校における働き方改革推進プラン（令和7～10年度）」を、県ホームページにて公開しました。

「業務改善の推進」「働く環境の整備」「部活動改革」「地域・専門人材の活用」「意識改革・理解促進」の5つの重点取組を柱とし、教員「働きやすさ」と「働きがい」を両立させることで、全ての子どもたちに向けたよりよい教育の実現を図り、子どもたちと教職員のウェルビーイングの向上につなげます。

また、働き方改革のための若手教員ワーキンググループが発案し、富山北部高校情報デザイン科がデザインしたリーフレット「教育改革！家庭×学校×地域＝子どもの成長」を、県教育委員会とPTAの連名で発出し、推進プランと併せてホームページにて公開しました。リーフレット掲載の2次元コードからは、高校生や若手教員のアイデアを取り入れて制作した働き方改革プロモーション映像もご覧いただけます。

引き続き、教員がより一層魅力的な職業、学校がより一層活力ある職場となるよう、地域・保護者の皆様のご理解とお力添えもいただきながら、取り組んでまいります。



**教育改革！**  
家庭 × 学校 × 地域  
= 子どもの成長

持続可能な教育へ  
富山県の教職員の働き方を改善していきます。  
保護者・地域のみなさまへ

 <p>学校への連絡の際は、教職員の勤務時間にご配慮をお願いします。</p>	 <p>学校行事や業務の見直しにご理解をお願いします。</p>
 <p>学校に関わるボランティアなどへのご参加・ご支援をお願いします。</p>	 <p>学校外でのトラブル(SNSの利用に関したトラブルなど)の初期対応は家庭や地域でお願いします。</p>

令和8年2月  
富山県教育委員会、富山県PTA連合会、富山県高等学校PTA連合会  
デザイン：富山北部高校 情報デザイン科  
制作協力：働き方改革のための若手教員ワーキング・グループ

   
動画へのリンク 詳しい内容について

## 各課の取組み

### 教育企画課

教育企画課では、教育委員会会議、教育の広報、教育委員会表彰、学校施設・設備の管理、ICT環境の整備、とやま科学オリンピック、とやまこどもサミットに関する業務等を行っています。ICT環境の整備では、児童生徒用の1人1台端末の整備、学校のネットワーク環境の再整備等に努めていきます。令和7年度には「とやまこどもサミット」を初めて開催しました。今年もみなさんの参加を心からお待ちしております。

### 生涯学習・文化財課

生涯学習・文化財課では、生涯学習振興事業の企画・調整、青少年教育、家庭・成人教育、そして文化財の保存と活用に関する業務を行っています。

今年度で21年目となる「親学び講座」については、多様化する現代の子育てに対応した新しいプログラムの作成や、より多くの保護者の方に参加してもらえるような取組みを進めてまいります。また、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」登録10周年と、「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」の追加登録を記念し、関係市等と連携してシンポジウムや魅力発信事業を開催します。

### 教職員課

教職員課では、教職員の採用、人事異動、服務及び教員免許等に関する業務を行っています。

今年度は、「教職魅力化×働き方改革一体プロジェクト」として、現職教員のウェルビーイング向上と教職のイメージアップにつながる「働き方改革の推進」と、中学生・高校生や、教員免許状を保有しているが教職に就いていない方などの新たな層にアプローチし、教員志望者の裾野を広げる「人材確保」の、2方面の取組みを同時並行で進めていくこととしています。

教員が働きやすい環境を整え、子どもと向き合う時間を確保するとともに、意欲ある優秀な教員の確保によって、子どもたちの学びを支える教育環境を構築してまいります。

### 保健体育課

保健体育課では、学校保健・体育施策の推進、食育・学校給食、児童生徒の保健・安全、児童生徒の体力向上、教職員の福利厚生、公立学校共済組合に関する業務を行っています。食育・学校給食では、小学校給食費の保護者負担を軽減するため、国と連携し、子育て支援に取り組む市町村を支援します。体力向上については、Webアプリ「とやま元気っこチャレンジ」を活用し、運動を楽しむ児童生徒を増やしながら、運動習慣を含めた健康的な生活習慣の定着を図ります。また、関係機関と連携して、ストレスチェックの実施等、教職員のメンタルヘルス対策に取り組めます。

## 教育みらい室の取組み

### 小中学校課

小中学校課では、児童生徒の「問題発見・解決能力」の育成を目指す「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」を基にした授業改善の推進、教員の資質向上及び授業力向上の研修、児童生徒の非認知能力育成等に関する業務を行っています。今年度は新たに、児童生徒が夢や目標に向かって、自身の生き方について主体的に考える力を育むキャリア教育を推進します。

富山県幼児教育センターでは、幼児教育施設への訪問研修や幼児教育と小学校教育の接続に向けた取組みを充実していきます。

## 県立高校課

県立高校課では、奨学資金、授業料、高校卒業程度認定試験、県立高校の教育課程、県立高校入学者選抜、産業教育などに関する業務を行っています。例年1月下旬～2月上旬には「とやま探究フォーラム」（主催：富山大学・富山県教育委員会）を開催しており、STEAM教育の推進や地域等との連携による課題解決などをテーマに、各学校で進めてきた探究的な活動の成果を発表しています。また、生徒交流会等を通じて学校どうしのつながりを深めることで、探究的活動の一層の充実を図っています。

高校教育充実強化担当（新設）では、国の「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）」を踏まえ、改革を先導するパイロットケースの創出や、「高等学校教育改革実行計画」の策定等を行います。

## 特別支援教育課

特別支援教育課では、「富山県特別支援教育将来構想」の5年目を迎え、障害のある子どもが小学校就学前から高等学校卒業後まで切れ目なく各段階に応じた支援を受けられるよう、インクルーシブ教育システム構築の理解促進、早期からの相談体制の整備、学校への相談支援の充実、就労支援の充実、教員の専門性の向上に向けた取組み等により特別支援教育の充実を図ります。

今年度は特別支援学校の就労支援の充実として富山県教育委員会版技能検定「ブリチャレ・1（ワン）」を実施し、生徒が働くために必要な知識や技能を身に付けるとともに就労意欲の向上を図ります。



将来構想は  
こちらから

## 県立高校改革推進課

県立高校改革推進課では、県立高校の教育改革に関する業務や学級編制に関する業務を行っています。

今年度は、今年1月に総合教育会議で取りまとめられた「新時代とやまハイスクール構想」実施方針を踏まえ、新時代とやまハイスクール構想検討会議等において検討を進め、今年度前半を目途に「第1期設置方針」が取りまとめられた後は、具体的な学校づくりの検討を進めていきます。



新時代とやまHS  
構想はこちらから

## 児童生徒支援担当

児童生徒支援担当では、主に公立小・中・高等学校のいじめ・不登校支援等、生徒指導に関する業務を行っています。具体的には各学校へのスクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの派遣、24時間いじめ相談電話の設置等、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。さらに、今年度も引き続きフリースクール等を利用する家庭への支援も行います。

## 夜間中学設置準備担当

夜間中学設置準備担当では、令和9年4月、県立雄峰高等学校内に設置する県内初の夜間中学「高志のあかり中学校」の開校準備を進めています。今年度は、体験授業を7月から複数回開催します。入学を希望される方に学校をよく理解してもらい、入学を検討される際の一助としていただきたいと思います。また、秋頃からは、生徒募集を開始します。今後も、一人でも多くの中学での学び直しに興味を持っている方に情報が届くよう、広報活動に力を入れてまいります。



県の夜間中学HPへは  
こちら▶▶▶